

透析患者さんの合併症予防から治療、リハビリまで幅広く対応



医療法人讃生会
宮の森記念病院

副院長
谷口晋也

人工透析を受ける患者さんの中でも糖尿病慢性腎不全の方は、脳血管障害や虚血性心疾患など、動脈硬化による血管トラブルを起こしやすいです。当院では合併症の予防から治療、リハビリ、他院との地域連携まで幅広く行います。

透析患者さんの大切なシャントをトラブルなく良好に保ってもらうために、カテーテルによるシャント血管形成術(PTA)などのシャント管理や、他院でのシャントトラブルにも対応し、しっかりと管理しています。

一方、回復期リハビリテーション病棟では、患者さんごとのプログラムに基づき、医師や看護

師、理学療法士ら多職種が共同で集中的なリハビリを提供します。

脳血管障害の合併症に至った透析患者さんには、基礎疾患管理から合併症発症後のリハビリ管理を行います。同時に透析療法を継続し、機能回復やADLの向上を図り、社会復帰、在宅復帰までの支援体制を充実させています。

また、透析患者さんは筋力が低下しやすいです。運動療法による筋肉量の維持で足腰が安定するので、透析患者さんの運動リハビリも視野に入れて幅広いニーズに対応できるよう努めています。スタッフ一同、地域医療に貢献できるよう努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。